

南会津地域の現状

- 観光客入込数はR1まで6年連続減少
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大
- R2観光客数は激減。地域の基盤産業の一つである観光関連産業に大きな打撃。
- 振興局とりまとめでは、R1比約62%、H22比約46%

全国的に
国内旅行は少人数化、個別化
選ばれる観光地となるために、
より「地域の個性」が重要に

南会津地域の課題

- 地域内を周遊する観光がない。
- 観光滞在時間が短く、地域にお金が落ちない。
- 分析のための観光データが収集できていない。
- ・南会津郡は4町村からなるが、面積は神奈川県とほぼ同じという広さ。町村を跨いだ地域同士の連携は強くない。
- ・宿泊までしていくお客が少ない。
- ・「南会津ならではの」ここでしか買えない・何度も体験したくなる「商品」がない。

【RESAS 地域経済分析システム】

① 2020年1月・休日・日中の滞在人口の県外者割合18%
(うち訪問者上位:東京都35%、栃木県28%、埼玉県26%)

② 2019年休日・滞在人口の県外居住者
14時18,660人 20時7,297人 →約6割は他地域へ

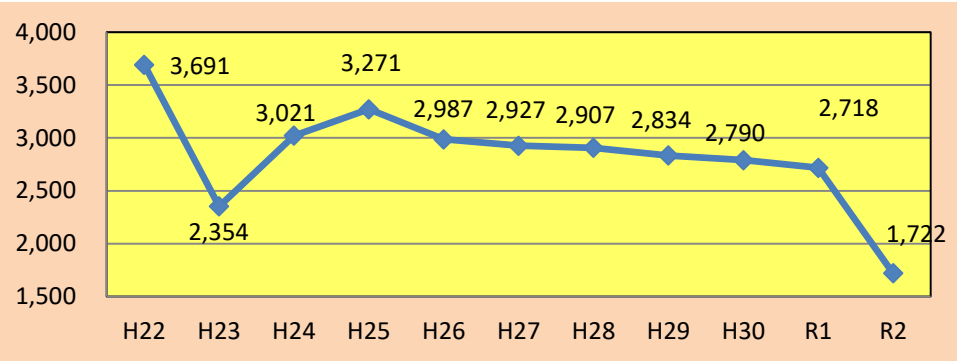
③ 「宿泊業・飲食サービス業」
H28 労働生産性 1,509千円/人
全国平均2,103千円/人を下回る

【福島県観光地実態調査】
インターネット調査による南会津エリアの認知度は22.8%
(会津エリアは46.2%)

【県観光客入込状況調査 R1年】
大内宿入込数 870,904人
湯野上温泉入込数 42,059人
(大内宿入込に対する湯野上温泉入込は4.8%)

【観光客入込状況推移(年)】

(単位:千人)



【観光客入込数の多い観光地】

		(単位:人,%)			
順位	町村	観光地	1年計	30年計	伸び率
1	下郷町	大内宿	870,904	801,123	8.7
2	下郷町	道の駅しもごう	320,048	382,448	△16.3
3	南会津町	道の駅たじま	246,123	259,240	△5.1
4	下郷町	塔のへつり	207,899	191,328	8.7
5	南会津町	たかつえスキー場	198,590	209,190	△5.1
6	檜枝岐村	道の駅尾瀬檜枝岐	114,984	116,859	1.6
7	只見町	深沢温泉	93,736	92,096	1.8
8	南会津町	会津田島祇園祭	84,000	86,000	△2.3
9	檜枝岐村	尾瀬	70,500	77,100	△8.6
10	南会津町	だいくらスキー場	68,034	69,410	△2.0

【推計人口 福島県統計課】
R3.3.1現在
南会津郡4町村 23,807人
(県人口の1.3%)

高齢化率 43.8%
人口密度 10.16人/km²

(H22年国勢調査 29,893人、
高齢化率 36.8%)